

長崎大学原子力災害対策戦略本部

ロゴマークガイドライン



本ガイドラインの使用方法

本ガイドラインは、「長崎大学原子力災害対策戦略本部」のデザインシステムにおける基本的な枠組の設定と、その具体的な応用についての基本的指針を示したものです。

学外への情報発信に際しては本ガイドラインに基づいたものになるようご協力をお願いします。

ロゴマーク使用上の注意点

第三者によるデザインの改ざんを防ぐため、ロゴタイプまたはシンボルマークを表示する場合はここに示した規定に従って正しく使用してください。

なお、組み合わせる他の情報や配置するスペースの大きさによって微調整を行い、バランスをとってください。

学外に向けたノベルティ等に使用する場合は「原子力災害対策戦略本部ロゴ」単体での使用はできません。

「長崎大学ロゴ」(https://www1.g-reiki.net/nagasaki-u/reiki_honbun/x893RG00000481.html)とともに使用してください。

拡大、縮小、比率について

ロゴを表示する場合、拡大、縮小については各媒体の表示形態に従い自由に行うことができますが、ここに示したバランスに従い、正しい比率で表示してください。

縮小する場合は、印刷による文字の潰れが生じないようバランスを見ながら配置してください。

カラーについて

※仕様に従った配色のみ使用してください。

※指定のカラー以外の配色に改ざんしないでください。

記載内容や使用方法についてご不明な点などありましたら下記にお問い合わせください。

お問い合わせ：長崎大学原子力災害対策戦略本部
Tel.095-819-8536

製作者：株式会社アルジュナ
Tel.095-801-0780

目次

1. 基本デザイン／デザインコンセプト
2. 基本デザイン要素一覧
3. アイソレーションエリアについて
4. **[実データ]** (アイソレーションエリア付)
5. カラーと背景色の関係
6. 最小使用サイズ
7. 使用禁止例

1. 基本デザイン

ロゴマーク



シンボルマーク

ロゴタイプ

デザインコンセプト

旗を掲げて立ち向かう

旗を掲げ目印となることで一人一人が目標を見失わずに団結することができ、

向かい風の中でも、困難に立ち向かっていける。そんな目印となるロゴマークを目指しました。

また、「BE!」には「～である!であれ!」という強く意思決定する意味があり、強く目標に向かおうとするあろうとする姿、

意思の強さを込めています。

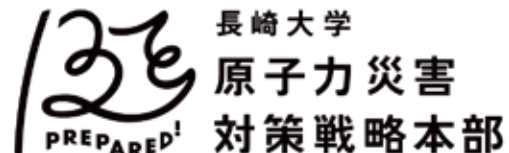
2. 基本デザイン要素一覧

ロゴマーク



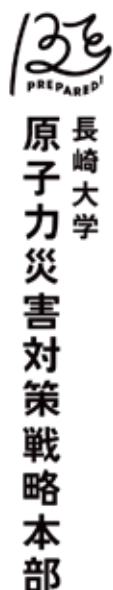
長崎大学
原子力災害対策戦略本部
Headquarters for Nuclear Disaster Response and Preparedness in Nagasaki University

長崎大学
原子力災害対策戦略本部



長崎大学
原子力
災害対策戦略
本部
Headquarters for Nuclear Disaster
Response and Preparedness
in Nagasaki University

長崎大学
原子力災害
対策戦略本部

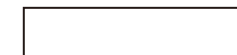


長崎大学
原子力災害対策戦略本部
Headquarters for Nuclear Disaster Response and Preparedness in Nagasaki University

長崎大学
原子力災害対策戦略本部



カラー



3. ロゴマークアイソレーションエリアについて

アイソレーションゾーンとは、ロゴ周りに使う“余白”のことです。表示する際にはロゴ周辺に一定のアイソレーション（保護エリア）を設け、アイソレーション領域内には他のデザイン要素や文字などをのせることができないルールになっています。ロゴのサイズを 1A とし、各デザインに合わせて 1/2、1/3、1/4 などの比率で余白を設定しています。アイソレーションをつくることで、ロゴ表示に独立性を持たせることが重要です。



実データの使用方法



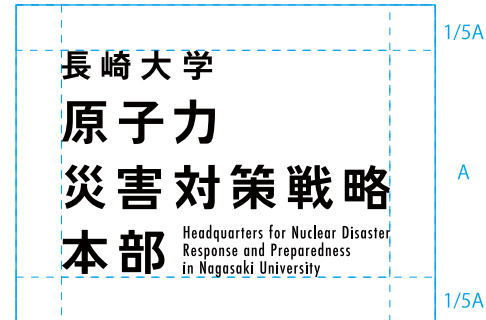
レイヤー「designDATA」に配置されている各ロゴデータはアイソレーションエリアとグループになったパステータが選択されます。任意の箇所に配置した後にグループを解除して使用ください。

4.[実データ] (アイソレーションエリア付)

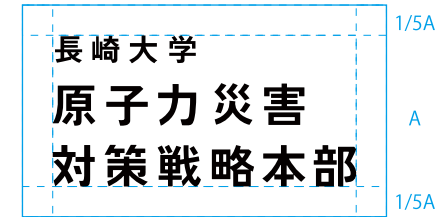
ロゴマークはシンボル・タイプフェースの組み合わせが以下 15 パターンあります。
用途に応じてシンボル・タイプフェースいずれかのみでも使用が可能です。
アイソレーションエリアとは、ロゴ周辺の余白を設けた保護エリアの事です。
※アイソレーションエリアを必ず保ってご使用ください。



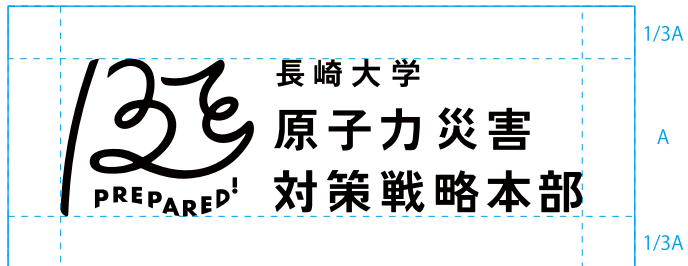
1. 横 / シンボル + 日本語タイプ横 A+ 英字



3. 日本語タイプ横 A+ 英字



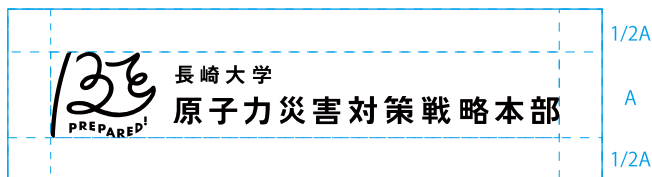
4. 日本語タイプ横 A のみ



2. 横 / シンボル + 日本語タイプ横 A



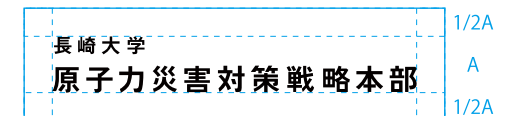
5. シンボル + 日本語タイプ横 B+ 英字



6. シンボル + 日本語タイプ横 B



7. 日本語タイプ横 B+ 英字



8. 日本語タイプ横 B のみ

カラー



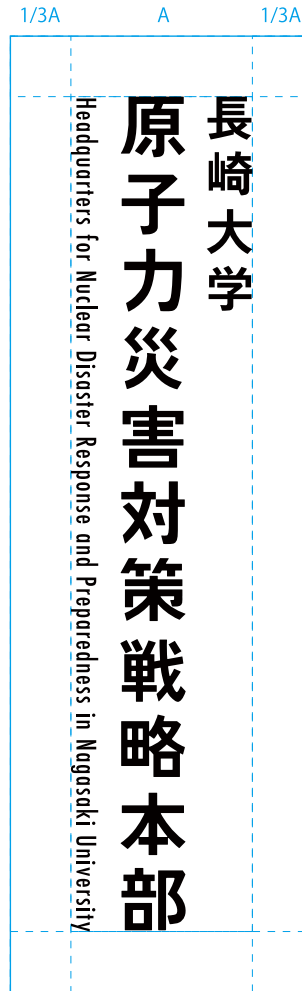
4.[実データ] (アイソレーションエリア付)



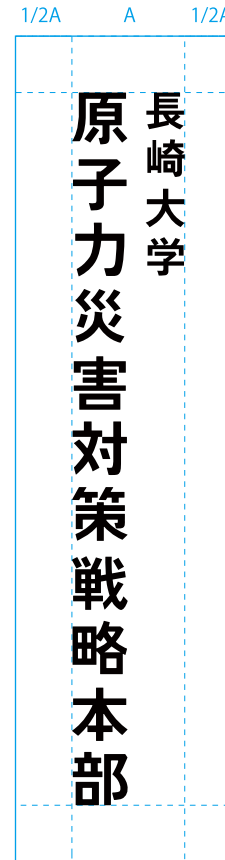
9. シンボル + 日本語タイプ縦 A+ 英字



10. シンボル + 日本語タイプ縦 A



11. 日本語タイプ縦 A+ 英字



12. 日本語タイプ縦 A



13. 縦 / シンボル + 日本語タイプ横 A

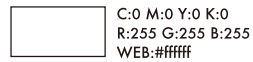


15. シンボルのみ



14. 縦 / シンボル + 日本語タイプ横 A+ 英字

カラー



5. カラーと背景色の関係

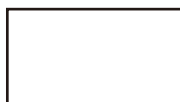
コーポレートカラー



DIC カラー：99
 プロセスカラー： C90/M5/Y0/K0
 RGB カラー： R0/G162/B230
 WEB カラー： #00a2e6



プロセスカラー： C0/M0/Y0/K100
 RGB カラー： R0/G0/B0
 WEB カラー： #040000



プロセスカラー： C0/M0/Y0/K0
 RGB カラー： R255/G255/B255
 WEB カラー： #ffffff

各媒体に合わせ、正しいカラー表示、色指示を行ってください。

背景色との関係

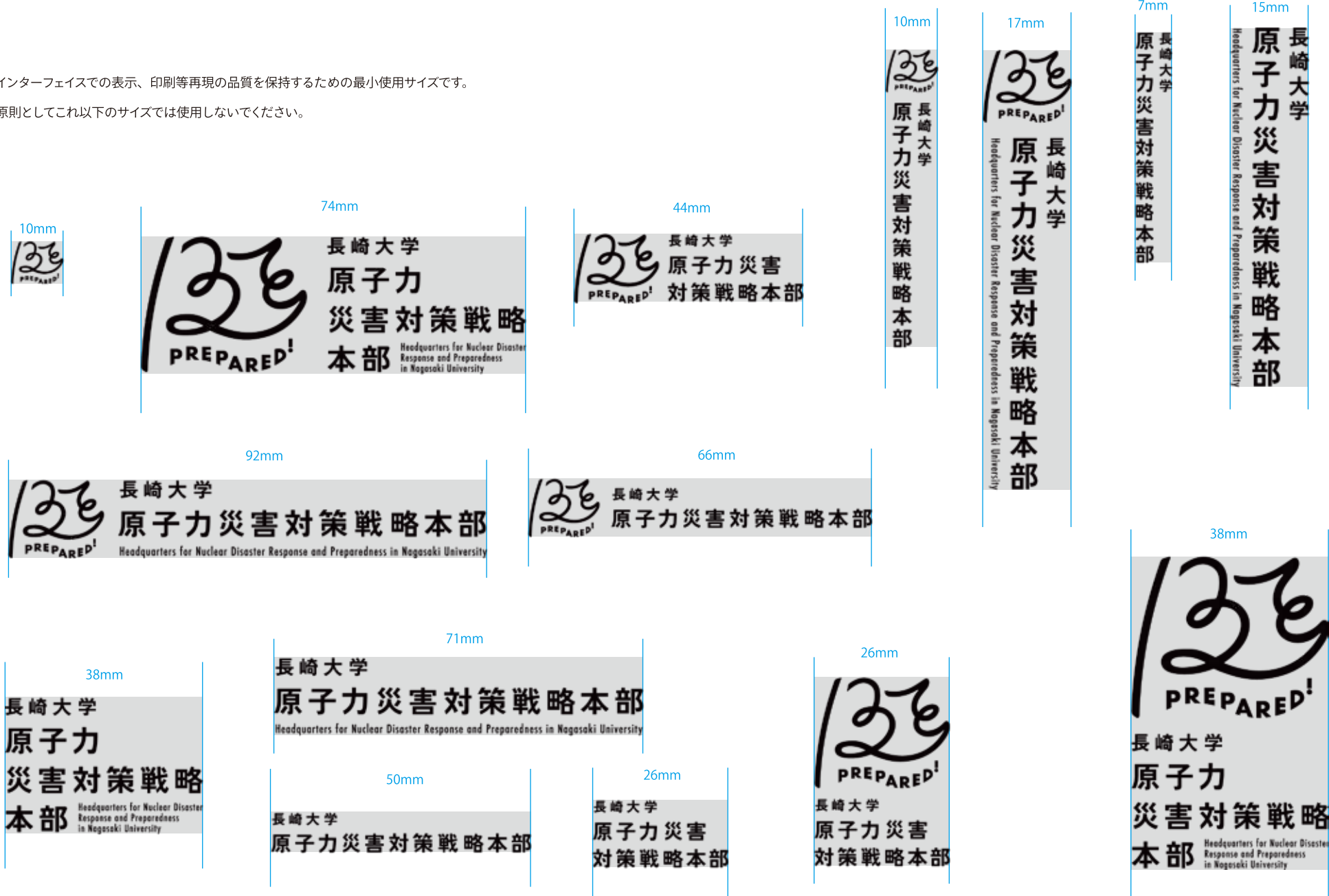
ロゴマークを表示する際の背景濃度を示しています。ロゴマークが常に読みやすく明瞭に表示されるよう、右記の図を参考に、ロゴマークと背景色のバランスを保って表示してください。



6. 使用最小サイズ

インターフェイスでの表示、印刷等再現の品質を保持するための最小使用サイズです。

原則としてこれ以下のサイズでは使用しないでください。



7. 使用禁止例

ロゴマークの誤った使用例です。

これらの誤った表示はブランドの正しい認知とイメージを妨げます。このような不適切な使用は避けてください。



斜体をかけるなど変形してはならない



平体や長体に変形してはならない



ロゴマークのバランスを変えてはいけない



指定以外のカラーで配置してはならない



ロゴタイプの書体を変えてはならない



反転してはならない



判読性の低い背景に配置しない